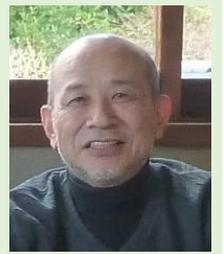


▼コラム

わかり易い土木 第19回 道路の話 2
いろいろな道路

アジア航測株式会社事業推進本部 社会インフラマネジメント事業部

大友 正晴



一口に道路と言っても道路には、いろいろな道路があります。今回は、道路にも様々なものが有ることをご紹介させていただきます。

■ 法律によって定められた「道路」

現在、道路は「道路法」と呼ばれる法律によって整備、運用されています。前回ご紹介したように道路法は、大正8年（1919年）に制定されました。その後、法改正などによって現在に至っています。

道路法は、「道路網の整備を図るため、道路に関して路線の指定及び認定、管理、構造、保全、費用の負担区分等に関する事項を定め、もって交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進すること（法第1条）」を目的としています。簡単に言うと日本国内の交通ネットワークを構築してそれを維持することです。戦後の道路網の発展とともに、日本の経済発展があったことは皆さんもご理解いただけると思います。

道路法では、道路を4種類に分類し法律で規定しています。高速自動車国道、一般国道、都道府県道、市町村道の4種類です。

高速自動車国道：道路法とは別に高速自動車国道法によって路線の指定や整備計画について詳細に定められおり、日本の骨幹となる交通ネットワークを構成するものです。

一般国道：全国的な幹線の道路網を構成する道路で、主要都市や特定の港湾・重要な飛行場などの施設を連絡する道路です。

都道府県道：地域的な幹線道路網を構成し、主要な都市、駅、港湾など交通主要施設を連絡する道路で都道府県知事が認定する道路のこと。都道府県道には、とくに主要な幹線道路を主要地方道として国土交通大臣が指定します。その他の都道府県道は、一般都道府県道として主要地方道と区別しています。

市町村道：国道、都道府県道以外のほぼすべての道路が市町村道にあたります。主要施設の連絡以外にも、集落を繋ぐなど毛細血管のように隅々にある生活道路としての役割を担う道路などです。

上記道路以外にも、以下の法律で定められる道路もあります。

都市計画道路：都市計画法に基づく都市計画の一環として計画・整備される道路のことで、建設されると道路法に基づく道路として維持管理されます。

農道：土地改良法・農用地開発公団法に基づき計画・整備される農免道路、広域農道と呼ばれる道路のことです。

林道：森林法・林業基本法・森林開発公団法に基づく道路のことです。

その他にも、漁港漁場整備法・港湾法による漁港施設道路、臨港道路などや、鉱業法、自然公園法、都市公園法、そして道路運送法による道路もあります。

一方法律によらない道路の代表が私道です。これは、整備及び維持管理すべてを民間で行う道路のことで、中には有料道路として一般に供用されている道路もあります。神奈川県から静岡県に通る箱根ターンパイク（2018年よりアネスト岩田ターンパイクと命名）、熱海ビーチラインはよく知られています。

◆現況道路の延長（平成31年3月31日現在）

種別	実延長 (km)
高速自動車国道	9,204.8
一般国道	66,162.8
都道府県道	142,840.7
市町村道	1,062,864.5
合計	1,281,072.8

■ 道路管理者とは

前項の道路法等に基づく道路は、道路管理者によって道路施設の計画、建設、施工（工事）、維持管理が行われています。道路管理者には、国（国土交通省が実際には担います）、都道府県・市町村などの地方自治体の他、農林水産省（林野庁、水産庁）・農用地開発公団、環境省などと民間の場合もあります。

高速道路（高速自動車国道）に関しては、特殊で国土交通省が管理する区間と、高速道路株式会社が管理する道路とがあります。高速道路株式会社は、現在は日本道路公団の分割民営化により、東日本・中日本・西日本高速道路株式会社の三社となりました。また、その際に首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団も、民営化され、それぞれ首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社となりました。各公団は、それぞれ各公団法に基づき運営されていましたが、今は民間会社として道路管理を行っています。

◆道路管理者と交通管理者
 案外知られていないことがあることに、道路管理者と交通管理者があります。交通管理者は、皆様ご存じの警察です。警察は、道路上を通行する車両や歩行者を管理している行政です。言い方を変えれば道路の運用を関していると言えます。したがって、そのため横断歩道や停止線などのマーキング、信号や交通標識は警察の管轄・管理になります。
 一方、道路施設として道路を構成する舗装、橋梁、トンネル、歩道などの構造物は、道路管理者が管理しています。

また、自治体などが上記以外的高速道路や有料道路を建設して維持管理するために地方道路公社があります。名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社をはじめ政令指定都市や府県の道路公社が、地方道路公社法に基づき設立されています。

国道、都道府県道、市町村道の道路管理者は、基本的には国道は国、都道府県道は都道府県、市町村道は市町村がそれぞれ管理するのですが、実際にはそうではない場合もあります。国道は国土交通省が直接管理する国道（直轄国道と言う）を指定区間とされています。それ以外の指定区間外の国道を都道府県もしくは政令市が管理する国道を補助国道と言われています。

■ 道路の分け方（区分）

道路に関連した法律の中に道路構造令という政令があります。「この政令は、道路を新設し、又は改築する場合における道路の構造の一般的技術的基準を定めるものとする。」とその第 1 条に記されています。その中で道路を役割や求められる機能などから区分分けと種級に分けています。

はじめに道路区分についてです。あまり一般的ではありませんが、市の広報などで 1 種道路とか 4 種道路などの言い方を聞かれた方もおられるかと思います。道路区分は、高速自動車国道及び自動車専用道路とその他の道路に分けられ、さらにそれぞれの地方部にあるか都市部にあるかで区分します。

表 道路区分

	地方部	都市部
高速自動車国道及び自動車専用道路	第 1 種	第 2 種
その他の道路	第 3 種	第 4 種

また、種級のクラス分けは、地形や計画交通量に応じて第 1 種は 1～4 級、第 2 種は 1～2 級、第 3 種は 1～5 級、第 4 種は 1～4 級に分けられています。

都市部とは市街地を通る場合で、第 2 種の都市部で代表的なのが首都高や阪神高速などです。また、第 4 種というわかり易いところで都市計画の区域内の道路は、大半が第 4 種に該当します。

高速自動車国道、自動車専用道路とは、インターチェンジ以外で道路沿道等から直接道路に出入りができない道路のことです。専門的にはこれを出入り制限道路と呼んでいます。

もう一つ道路構造令では、普通道路と小型道路という区分が存在します。普通道路とは、通行車両制限などが無い道路のことです。小型道路とは、小型自動車（長さ 4.7m 以下、幅 1.7m 以下、高さ 2m 以下の車両）以下の車両のみの通行を目的とした道路のことです。大型トラックやトレーラーなどは通れない道路です。小型道路には、小型自動車等のみが通行するための道路とした場合と、片側 2 車線以上の道路で内側の車線を小型道路とする場合の二通りあります。